

川崎市視覚障害者情報文化センター 2024 年度事業計画

川崎市内の視覚障害者のQOL(生活の質)の向上を目指し、市内全域にサービスを展開する。

重点項目

- (1) 図書館事業、訓練事業、用具事業を合わせもつ強みを活かしたサービスを行う。
- (2) 見えづらくなった人が早期にセンターとつながるように、市内眼科医院、障害者相談支援センター、リハビリテーションセンターなど、地域資源との連携を図る。
- (3) 相談・訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的な相談ニーズが強い。そのニーズに合わせてスポット的な要望に積極的に応えていく。また、市内全域にスピード感を持って対応できるよう努める。
- (4) 利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた資料製作、資料提供を行なう。
- (5) 点訳・音訳・音声ガイド製作ボランティアの養成に努め、質の高い資料製作・音声ガイドの製作を進める。
- (6) 音声ガイド付きDVD 映画体験上映会、ヨガ教室、れきおんクラブ、図書利用者交流会、コンサート、センターまつりなどの文化的イベントを開催する。
- (7) 読書バリアフリー法の公共図書館への推進に寄与するため、市内公共図書館との連携づくりを進める。
- (8) 災害に備え、飲料水や食料品などを計画的に備蓄するなど、防災・減災対策を進める。

計画

- (1) 資料の閲覧・貸出
 - ① 820人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間310タイトル、録音図書はシネマ・デイジーを含め年間8,510タイトルの提供を目指す。
 - ② ダウンロードサービスにより点字・録音合わせて年間4,410タイトルの提供を目指す。また、デイジーオンラインを使用して300タイトルの提供を目指す。
 - ③ 点字雑誌は年間200タイトル、録音雑誌は年間4,000タイトルを提供し、総貸出数17,730件を提供する。
- (2) 資料製作
利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定・映画選定を行い、点字図書を年間40タイトル、録音図書を年間65タイトル、シネマ・デイジーを年間10タイトル製作する。
- (3) 点訳者、音訳者、音声ガイド製作者の養成
 - ① 2024年度は、点訳者養成講座を実施する。また、活動中の点訳者、音訳者を対象としたスキルアップのための研修会・相談会を開催する。

- ② 映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのため、製作過程において必要な指導を行う。
- (4) 訓練事業の取り組み
- ① 2023年度からの訓練継続者を含め、45名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を470回行う。
 - ② 訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導、生活用具・各種機器の操作指導などを延べ640回実施する。
 - ③ 市内ICTボランティアグループと連携をとり、必要な技術サポート、情報提供を行う。
- (5) 視覚障害者用具の展示と斡旋
- ① 視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズ、最新機器などを展示し、斡旋販売を行う。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。
 - ② 訓練担当と連携を密にし、訓練生に様々な用具を紹介することでQOL(生活の質)の向上を図っていく。また、合わせて図書の利用にも繋げていく。
- (6) ボランティアとの連携・協力
- ① 点字図書、録音図書、テキストデイジー図書、音声ガイドをボランティアの協力を得て、製作する。
 - ② センターまつりを市内ボランティア団体、及び川崎市視覚障害者福祉協会と連携して開催する。
- (7) 啓発普及について
- ① 新刊情報誌「ぶっくがいで」(偶数月発行)に加え、メールマガジン(月2回)、音声版メールマガジン(奇数月発行)、ホームページで最新の情報をいち早く伝えるなど、広報活動に積極的に取り組んでいく。
 - ② 当センターへの理解を深めてもらうために、各区の高齢・障害担当、病院、地域包括支援センター、障害者相談支援センターなどを対象とした事業説明会を開催する。また、要望に応じて出張説明会を開催する。
 - ③ 小中学校で行われる視覚障害啓発授業への講師派遣に協力する。
 - ④ 見えづらくなった方が、センターに早期につながるができるよう地域の眼科病院、関係施設と連携を深めていく。
- (8) 読書バリアフリー法の公共図書館への推進に寄与するため、市内の公共図書館が障害者サービスを進めることに協力していく。そのために、まず公共図書館との連携作りからはじめ、公共図書館側の状況、ニーズを把握し、協力関係を築いていく。
- (9) 文化的事業を開催する。
- ① 音声ガイド付きDVD映画体験上映会を月1回(年12回)開催する。
 - ② 図書を通して利用者同士が交流できるイベントを企画し、年2回開催する。
 - ③ ヨガ教室を奇数月(年6回)に午前と午後の2クラス開催する。

- ④ れきおんクラブ、CDで聴くクラシック音楽講座、音楽コンサート、落語会などのイベントを開催する。
- ⑤ センターまつりを年1回、開催する。
- ⑥ 中部、北部地域で出張イベントを2回ずつ開催する。

(10) 感染予防、防災、減災対策の推進

- ① 人が集まるセミナーやイベントを開催する際は、会場内の換気に注意する。
- ② 発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。
- ③ 感染予防、災害に備え、マスク、除菌液、飲料水、非常食などの衛生用品・防災用品を計画的に備蓄する。

参 考

2024年度(計画)

(1) 資料の閲覧・貸出

①	利用登録者数	520名
	(内 新規登録者数)	20名
②	利用登録団体	300施設
③	点字図書の蔵書数および貸出・提供	
	蔵書数 (タイトル)	3,540タイトル
	(冊数)	13,100冊
	蔵書数の変化 (新収書)	70タイトル
		250冊
	貸出数 点字図書	310タイトル
		930冊
	(内 他館借受)	(50タイトル)
		(100冊)
	点字雑誌	200タイトル
④	録音図書の蔵書数および貸出・提供	
	(ア) 蔵書数 (タイトル)	6,700タイトル
	(枚数)	6,700枚
	(イ) 蔵書数の変化 (新収書)	300タイトル
		300枚
	(ウ)貸出数	
	● カセットテープ	10タイトル
		30巻
	● CD図書	7,800タイトル
	(内 他館借受)	(5,100タイトル)
	● シネマ・デイジー (含む 音声ガイド)	700タイトル
	● CD雑誌	4,000タイトル
	(エ) デイジー図書コンテンツダウンロード提供	
	● メモリーメディア	4,400タイトル

● デイジーオンラインサービス	300 タイトル
(オ) 点字データコンテンツダウンロード提供	
● メモリーメディア	10 タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数	300 件
(2) 資料製作	
① 点字図書の製作数	
(ア) 委託製作数	20 タイトル 100 冊
(イ) 委託外製作数	20 タイトル 100 冊
② 録音図書の製作数	
(ア) 委託製作数	音訳 40 タイトル
デイジー編集	65 タイトル
(イ) 委託外製作数	25 タイトル
(ウ) 録音雑誌	12 冊 (1 タイトル)
③ シネマ・デイジー (音声ガイド) の製作数	
(ア) 委託製作数	10 タイトル
(3) プライベートサービス	
① 点字図書の製作数	10 回
② 音声デイジー・テキストデイジー等の製作数	10 回
③ 対面朗読	15 回
(4) ボランティアの養成	
① 点訳ボランティア連絡会	2 回
② 点訳ボランティア相談会	3 回
③ 点訳ボランティア校正者会	2 回
④ 点訳ボランティア養成講座	16 回
⑤ 音訳ボランティア連絡会	2 回
⑥ 音訳ボランティア校正者会	4 回
⑦ ICT ボランティア団体との連絡会	1 回
(5) 訓練事業の取り組み	
① 訓練者数	45 名
(内 新規訓練者数)	15 名
訓練回数	470 回
内訳 (複数提供あり)	
歩行訓練	20 名・・・200 回
パソコン訓練	5 名・・・60 回
ICT 訓練	10 名・・・80 回

	点字訓練	2名・・・	30回
	生活訓練	8名・・・	100回
② 相談者数		300名・・・	640回
	内訳（複数提供あり）		
	歩行相談	70名・・・	170回
	パソコン相談	40名・・・	100回
	ICT相談	40名・・・	120回
	生活相談	150名・・・	250回
③ 訓練生交流会	開催数		2回
④ 訓練生屋外交流会	開催数		1回
⑤ 用具の展示と斡旋	展示点数	390点	
	斡旋点数	1,500点	
(6) 啓発普及			
① 事業説明会の開催	センター事業説明会		1回
② イベントの開催			
	● 音声ガイド付きDVD映画体験上映会 毎月1回開催		12回
	● 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」奇数月開催		5回
	● 「CDで聴くクラシック音楽講座」偶数月開催		5回
	● ヨガ教室 奇数月1回、午前・午後の2クラス開催		6回
	● 音楽コンサート、落語会など 5月、12月、2月		3回
	● 図書利用者交流会（読書会など） 6月、1月		2回
	● センターまつり（12月）		1回
	● 中部・北部地域で出張イベントを2回ずつ開催 6月、9月、11月、1月		4回
③ 広報誌の発行			
	● ぶっくがいで（偶数月）		6回
	● メールマガジン「アイ eye」（2回/月）		24回
	● 音声版メールマガジン「アイ eye」（奇数月）		6回
	*メールマガジン『アイ eye』の2か月分を再編集して合成音声化したもの		